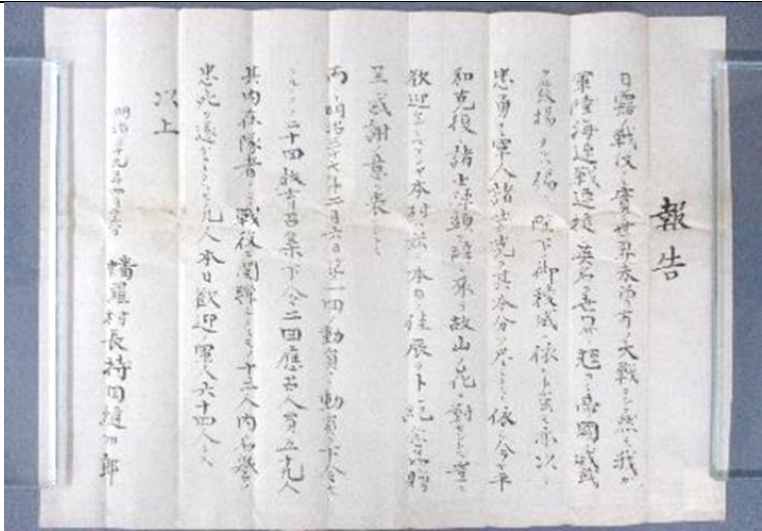


資料名	古文書 岸田氏収集文書7053 報告（日露戦争終結ニ付）
	
解説	1906（明治39）年4月16日に、幡羅村（現・深谷市）の村長名で出された文書です。文書には、日露戦争で兵役に就いた軍人に感謝の意を表して記念品を贈呈すること、軍役の動員回数や人数等が記されています。幡羅村は、537世帯人口2500人ほどの農村（明治5年）で、働き手が戦争に行った家庭には、村長が訪問して生活状況をチェックし、郡長に報告していました。
資料が生かせる教科・単元等	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校社会科 小6 日本の国際的地位の向上（日清・日露の戦争） ・中学校社会歴史的分野 近代の日本と世界（日清・日露戦争） ・高等学校 日本史 日清・日露戦争
その他	・幡羅村の概況は、埼玉県市町村誌13巻（1978）を参考にした。
閲覧時の留意点	・複写可能。写真撮影のみ可。

学校の授業での資料活用に関するお問い合わせは、県立文書館・学校等支援担当者へお問い合わせください（048-865-0112）